

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号  
実用新案登録第3204582号  
(U3204582)

(45) 発行日 平成28年6月2日(2016.6.2)

(24) 登録日 平成28年5月11日(2016.5.11)

(51) Int.Cl. F 1  
A 4 5 D 1/18 (2006.01) A 4 5 D 1/18 Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 8 OL (全7頁)

(21) 出願番号 実願2016-1369 (U2016-1369)  
 (22) 出願日 平成28年3月25日(2016.3.25)  
 (31) 優先権主張番号 201510321623.3  
 (32) 優先日 平成27年6月12日(2015.6.12)  
 (33) 優先権主張国 中国(CN)  
 (31) 優先権主張番号 201510584452.3  
 (32) 優先日 平成27年9月15日(2015.9.15)  
 (33) 優先権主張国 中国(CN)

(73) 実用新案権者 516090001  
 珠海金稻电器有限公司  
 Zhuhai Jindao Electric  
 appliance Co., Ltd.  
 中国广东省珠海金鼎上柵第二工業区生輝路  
 18号  
 NO. 18, Shenghui Road  
 , The Second Industrial  
 Zone, Jinding, Zhuhai,  
 China  
 (74) 代理人 110002262  
 TRY国際特許業務法人  
 (72) 考案者 賀 曉東  
 中国广东省珠海金鼎上柵第二工業区生輝路  
 18号

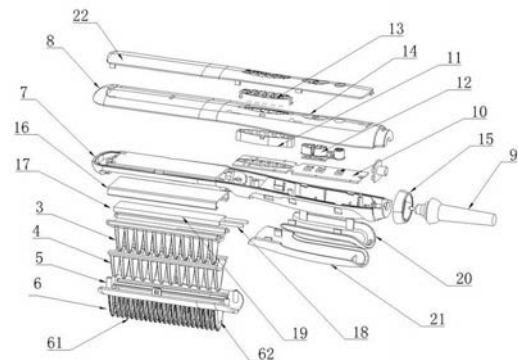
(54) 【考案の名称】 櫛付き電気ストレートアイロン

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 操作が便利な櫛付き電気ストレートアイロンを提供する。

【解決手段】 ハンドグリップ及びアイロン機構を備え、アイロン機構の内部には加熱装置が設置され、アイロン機構は櫛状に設計されて櫛歯部を有し、櫛歯部は上櫛歯部3と下櫛歯部4を備え、上櫛歯部は加熱装置に密着して加熱装置からの熱を下櫛歯部に伝達し、上櫛歯部は上固定板と複数の上櫛歯を備え、下櫛歯部は下固定板と複数の下櫛歯を備え、下固定板における隣り合う2つの下櫛歯の間には貫通孔が設置され、上櫛歯部の複数の上櫛歯が下櫛歯部の複数の貫通孔を通過することにより、上櫛歯部と下櫛歯部は一体になって、複数の上櫛歯と複数の下櫛歯部は交互に配列され、上櫛歯及び下櫛歯の横断面はすべて波形断面であり、隣り合う2つの櫛歯の間の隙間は0.25~1.5mmであり、隣り合う上櫛歯と下櫛歯はウェーブブラッシングエリアを形成する。

【選択図】 図2



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

ハンドグリップ及びアイロン機構を備え、前記アイロン機構の内部には加熱装置が設置され、前記アイロン機構は櫛状に設計された櫛歯部を有する櫛付き電気ストレートアイロンであって、

前記櫛歯部は上櫛歯部と下櫛歯部を備え、前記上櫛歯部は前記加熱装置に密着して前記加熱装置からの熱を前記下櫛歯部に伝達し、

前記上櫛歯部は上固定板と複数の上櫛歯を備え、前記下櫛歯部は下固定板と複数の下櫛歯を備え、前記下固定板における隣り合う2つの下櫛歯の間には貫通孔が設置され、前記上櫛歯部の複数の上櫛歯が前記下櫛歯部の複数の貫通孔を通過することにより、前記上櫛歯部と前記下櫛歯部は一体になって、複数の前記上櫛歯と複数の前記下櫛歯部は交互に配列され、

前記上櫛歯及び前記下櫛歯の横断面はすべて波形断面であり、隣り合う2つの櫛歯の間の隙間は0.25～1.5mmであり、互いに合わせて設置してから、隣り合う前記上櫛歯と前記下櫛歯はウエーブブラッシングエリアを形成することを特徴とする櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 2】**

前記アイロン機構は、前記ハンドグリップの前端に設置される前カバー固定板を備え、前記前カバー固定板には複数の櫛歯キャップを有する保護部が固定設置され、中空構造の前記櫛歯キャップは交互に配列された前記上櫛歯の外縁と前記下櫛歯の外縁を囲むことを特徴とする請求項 1 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 3】**

前記ハンドグリップは、前カバーと、後カバーと、前記前カバーの後端に設置される電気接続ケーブルと、締結リングと、を備え、

前記前カバーには電気回路基板が設置され、前記電気回路基板には遮光板及びボタンが設置され、前記後カバーの前記遮光板及び前記ボタンに対応する箇所には導光板及びボタン孔が設置され、

前記前カバー、前記後カバー及び前記電気接続ケーブルは前記締結リングによって固定されることを特徴とする請求項 2 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 4】**

前記加熱装置は、前記ハンドグリップの内部に固定設置される発熱シート固定板と、前記発熱シート固定板の内部に設置される発熱シートと、を備え、

前記発熱シートの電気コンタクトは前記電気回路基板に電氣的に接続され、

前記発熱シートの発熱エリアは前記上櫛歯部に貼り合わせることを特徴とする請求項 3 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 5】**

前記前カバーの後端にはノンスリップゴムが設置され、前記ノンスリップゴムの上には前装飾カバーが設置されることを特徴とする請求項 3 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 6】**

前記後カバーの上には後装飾カバーが設置され、前記後装飾カバーにおける前記導光板及び前記ボタン孔に対応する箇所には全て開口が設置されることを特徴とする請求項 3 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 7】**

前記上櫛歯及び前記下櫛歯は、櫛歯根部から櫛歯頂部に至ってその横断面の面積は徐々に小さくなり、各々の前記上櫛歯及び前記下櫛歯は波形であることを特徴とする請求項 1 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

**【請求項 8】**

前記保護部の前後両端にはストッププレートが設置されることを特徴とする請求項 2 に記載の櫛付き電気ストレートアイロン。

10

20

30

40

50

## 【考案の詳細な説明】

## 【技術分野】

## 【0001】

本考案は、ヘアケア装置に関するものであって、特に櫛付き電気ストレートアイロンに関するものである。

## 【背景技術】

## 【0002】

美髪業界で髪をストレートにする需要があつて、通常にストレートパーマをかけるヘアアイロンを使う。一般的にストレートパーマをかけるヘアアイロンとして例えば、基軸を支点に一对の毛髪挟持体を開閉自在に連結するものであり、一对の毛髪挟持体の内側にはヒータが設置されて、毛髪挟持体の間で毛髪を挟みながら、ヒータの熱により毛髪をストレートにする。しかし、このようなヘアアイロンはただストレートパーマをかけることができ、且つ櫛を配合使用することを必要とする。実際に操作する際、1つの手でヘアアイロンを持って髪に対してストレートパーマを行い、他の手で櫛を持ってブラッシングするので、操作が不便であり、ストレートパーマ効率も低い。

10

## 【考案の概要】

## 【考案が解決しようとする課題】

## 【0003】

そこで、本考案は、操作が便利であり、ストレートパーマ効率が高い櫛付き電気ストレートアイロンを提供することを目的とするものである。

20

## 【課題を解決するための手段】

## 【0004】

本考案に係わる櫛付き電気ストレートアイロンは、ハンドグリップ及びアイロン機構を備え、前記アイロン機構の内部には加熱装置が設置され、前記アイロン機構は櫛状に設計された櫛歯部を有し、前記櫛歯部は上櫛歯部と下櫛歯部を備え、前記上櫛歯部は前記加熱装置にぴったりくっついて前記加熱装置からの熱を前記下櫛歯部に伝達し、前記上櫛歯部は上固定板と複数の上櫛歯を備え、前記下櫛歯部は下固定板と複数の下櫛歯を備え、前記下固定板における隣り合う2つの下櫛歯の間には貫通孔が設置され、前記上櫛歯部の複数の上櫛歯が前記下櫛歯部の複数の貫通孔を通過することにより、前記上櫛歯部と前記下櫛歯部は一体になって、複数の前記上櫛歯と複数の前記下櫛歯部は交互に配列され、前記上櫛歯及び前記下櫛歯の横断面はすべて波形断面であり、隣り合う2つの櫛歯の間の隙間は0.25～1.5mmであり、互いに配合設置してから、隣り合う前記上櫛歯と前記下櫛歯はウエーブブラッシングエリアを形成する。

30

## 【0005】

前記アイロン機構は、前記ハンドグリップの前端に設置される前カバー固定板を備え、前記前カバー固定板には複数の櫛歯キャップを有する保護部が固定設置され、中空構造の前記櫛歯キャップは交互に配列された前記上櫛歯の外縁と前記下櫛歯の外縁を囲む。

## 【0006】

前記ハンドグリップは、前カバーと、後カバーと、前記前カバーの後端に設置される電気接続ケーブルと、締結リングと、を備え、前記前カバーには電気回路基板が設置され、前記電気回路基板には遮光板及びボタンが設置され、前記後カバーの前記遮光板及び前記ボタンに対応する箇所には導光板及びボタン孔が設置され、前記前カバー、前記後カバー及び前記電気接続ケーブルは前記締結リングによって固定される。

40

## 【0007】

前記加熱装置は、前記ハンドグリップの内部に固定設置される発熱シート固定板と、前記発熱シート固定板の内部に設置される発熱シートと、を備え、前記発熱シートの電気コネクタは前記電気回路基板に電氣的に接続され、前記発熱シートの発熱エリアは前記上櫛歯部に貼り合わせる。

## 【0008】

50

前記前カバーの後端にはノンスリップゴムが設置され、前記ノンスリップゴムの上には前装飾カバーが設置される。

【0009】

前記後カバーの上には後装飾カバーが設置され、前記後装飾カバーにおける前記導光板及び前記ボタン孔に対応する箇所には全て開口が設置される。

【0010】

前記上櫛歯及び前記下櫛歯は、櫛歯根部から櫛歯頂部に至ってその横断面の面積はだんだん小さくなり、各々の前記上櫛歯及び前記下櫛歯は波形である。

【0011】

前記保護部の前後両端にはストッププレートが設置される。

10

【考案の効果】

【0012】

本考案に係わる櫛付き電気ストレートアイロンはハンドグリップ及びアイロン機構を備え、前記アイロン機構の内部には加熱装置が設置され、前記アイロン機構は櫛状に設計された櫛歯部を有し、前記櫛歯部は上櫛歯部と下櫛歯部を備え、前記上櫛歯部は前記加熱装置にぴったりくっついて前記加熱装置からの熱を前記下櫛歯部に伝達し、前記上櫛歯部は上固定板と複数の上櫛歯を備え、前記下櫛歯部は下固定板と複数の下櫛歯を備え、前記下固定板における隣り合う2つの下櫛歯の間には貫通孔が設置され、前記上櫛歯部の複数の上櫛歯が前記下櫛歯部の複数の貫通孔を通過することにより、前記上櫛歯部と前記下櫛歯部は一体になって、複数の前記上櫛歯と複数の前記下櫛歯部は交互に配列され、前記上櫛歯及び前記下櫛歯の横断面はすべて波形断面であり、隣り合う2つの櫛歯の間の隙間は0.25～1.5mmであり、互いに配合設置してから、隣り合う前記上櫛歯と前記下櫛歯はウェーブブラッシングエリアを形成する。従来技術に比べて、本考案の櫛付き電気ストレートアイロンでストレートパーマをかける場合、使用者は櫛を配合使用することを必要としなく且つストレートアイロンをずっとしっかり握らなくてもよく、前記加熱装置と前記櫛歯部の接触を利用して、前記上櫛歯部及び前記下櫛歯部を発熱させて、髪をストレートにする。又、複数の前記上櫛歯と複数の前記下櫛歯部は交互に配列されるので、隣り合う2つの櫛歯の間の隙間を減少させて、ストレートパーマをかける場合、髪と十分に接触することができる。従って本考案に係わる櫛付き電気ストレートアイロンは操作が便利であり且つストレートパーマ効率が高い。

20

30

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本考案に係る櫛状に形成されたアイロン機構を備える櫛付き電気ストレートアイロンを示す図である。

【図2】図1に示す櫛付き電気ストレートアイロンの構造を示す分解図である。

【図3】図1に示す櫛付き電気ストレートアイロンのアイロン機構の櫛歯部の拡大図である。

【図4】図1に示す櫛付き電気ストレートアイロンのアイロン機構の波形櫛歯部の拡大図である。

【考案を実施するための形態】

40

【0014】

以下、本考案の目的、特徴、利点について、図面を参照しながら詳細に説明を行う。

【0015】

図1に示されたように、本考案に係わる櫛付き電気ストレートアイロンは、ハンドグリップ1及びアイロン機構2を備える。前記アイロン機構2の内部には電氣的に加熱される加熱装置が設置され、櫛付き電気ストレートアイロンは電流供給のための電気接続ケーブル9を有する。前記アイロン機構2は櫛状に設計されており、櫛歯部を有する。図2に示されたように、前記櫛歯部は、前記加熱装置にぴったりくっつく上櫛歯部3と、下櫛歯部4と、を備える。前記上櫛歯部3は前記加熱装置からの熱を前記下櫛歯部4に伝達する。前記上櫛歯部3は上固定板31及び複数の上櫛歯32を備え、前記下櫛歯部4は下固定板

50

4 1 及び複数の下櫛歯 4 2 を備え、前記下固定板 4 1 における隣り合う 2 つの下櫛歯 4 2 の間には貫通孔が設置される（図 3 及び図 4 を参照してください）。前記上櫛歯部 3 の複数の上櫛歯 3 2 が前記下櫛歯部 4 の複数の貫通孔を通過することにより、前記上櫛歯部 3 と前記下櫛歯部 4 は一体になって、複数の前記上櫛歯 3 2 と複数の前記下櫛歯 4 2 は交互に配列される。前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 の横断面はすべて波形断面であり、隣り合う 2 つの櫛歯の間の隙間は 0 . 2 5 ~ 1 . 5 mm であり、互いに配合設置してから、隣り合う前記上櫛歯 3 2 と前記下櫛歯 4 2 はウエーブブラッシングエリアを形成する。前記アイロン機構 2 は、前記ハンドグリップ 1 の前端に設置された前カバー固定板 5 を備える。前記前カバー固定板 5 には、複数の櫛歯キャップ 6 1 を有する保護部 6 が固定設置される。前記櫛歯キャップ 6 1 は、中空構造であり、交互に配列された前記上櫛歯 3 2 の外縁と前記下櫛歯 4 2 の外縁を囲む。前記加熱装置の 2 0 0 ぐらいの高温によって前記上櫛歯 3 2 と前記下櫛歯 4 2 を発熱させて、髪をストレートにする。前記保護部 6 は断熱するために用いられ、頭部の皮膚が高温にやけどしないようにする。

10

20

30

40

50

**【 0 0 1 6 】**

前記ハンドグリップ 1 は、前カバー 7 と、後カバー 8 と、前記前カバー 7 の後端に設置される電気接続ケーブル 9 と、締結リング 1 5 と、を備える。前記前カバー 7 には電気回路基板 1 0 が設置されており、前記電気回路基板 1 0 には遮光板 1 1 及びボタン 1 2 が設置される。前記後カバー 8 の前記遮光板 1 1 及び前記ボタン 1 2 に対応する箇所には導光板 1 3 及びボタン孔 1 4 が設置される。前記前カバー 7、前記後カバー 8 及び前記電気接続ケーブル 9 は、すべて前記締結リング 1 5 によって固定される。前記ボタン 1 2 と前記電気回路基板 1 0 の配合によって、本考案の櫛付き電気ストレートアイロンのオン/オフ状態を制御する。前記遮光板 1 1 及び前記導光板 1 3 は、前記電気回路基板 1 0 の表示ランプの光を前記後カバー 8 の外部に導引して、使用者に温度範囲を指示する。

**【 0 0 1 7 】**

前記加熱装置は、前記ハンドグリップ 1 の内部に固定設置される発熱シート固定板 1 6 と、前記発熱シート固定板 1 6 の内部に設置される発熱シート 1 7 と、を備える。前記発熱シート 1 7 の電気コンタクト 1 8 は前記電気回路基板 1 0 に電氣的に接続され、前記発熱シート 1 7 の発熱エリア 1 9 は前記上櫛歯部 3 に貼り合わせる。前記発熱シート 1 7 は電流供給されると発熱し始めて熱量を前記上櫛歯部 3 に伝導することにより、本考案の櫛付き電気ストレートアイロンはストレートパーマをかけることができる。前記前カバー 7 の後端にはノンスリップゴム 2 0 が設置され、前記ノンスリップゴム 2 0 の上には前装飾カバー 2 1 が設置される。前記後カバー 8 の上には後装飾カバー 2 2 が設置され、前記後装飾カバー 2 2 における前記導光板 1 3 及び前記ボタン孔 1 4 に対応する箇所には全て開口が設置される。

**【 0 0 1 8 】**

図 4 に示されたように、本実施形態において、前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 は、櫛歯根部から櫛歯頂部に至ってその横断面の面積はだんだん小さくなり、前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 はすべて波形である。前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 の横断面はすべて波形断面であり、互いに配合設置してから、隣り合う前記上櫛歯 3 2 と前記下櫛歯 4 2 はウエーブブラッシングエリアを形成する。従来のストレートヘアアイロンに比べて、本考案において、前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 を波形に設置したので、前記ブラッシングエリアは一定量の髪を通過させる隙間を保留するとともに、波形である前記上櫛歯 3 2 及び前記下櫛歯 4 2 の波高点と波低点が噛み合って通過する髪を引っ張ることにより、髪をストレートにする需要を満たす。図 2 に示されたように、前記保護部 6 の前後両端にはストッププレート 6 2 が設置されて、操作する時に使用者をやけどしないようにする。前記保護部 6 の前後両面は通じるので、使用者の髪と前記アイロン機構 2 の接触はさらに全面である。前記上櫛歯 3 2 と前記下櫛歯 4 2 が配合してから、隣り合う 2 つの櫛歯の間の隙間は 0 . 2 5 ~ 1 . 5 mm であり、前後櫛歯の間の距離はさらに緊密であり、ストレートパーマ効果もさらに優れる。実際に使用する場合、隣り合う 2 つの櫛歯の間の距離は 0 . 2 5 mm、0 . 5 mm、1 . 0 mm、1 . 2 mm、1 . 5 mm などであり、客

間の実際の状況によって異なる櫛歯間隔の製品を選択することができる。

【0019】

本考案に係わる櫛付き電気ストレートアイロンは美髪分野に適用される。

【0020】

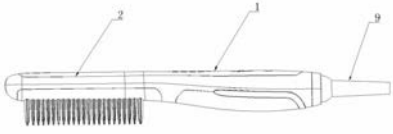
以上本考案を実施例に基づいて具体的に説明したが、本考案は、上述の実施例に限定されるものではなく、その要旨を逸脱しない範囲において、種変更可能であることは勿論であって、本考案の保護範囲は、以下の特許請求の範囲から決まる。

【符号の説明】

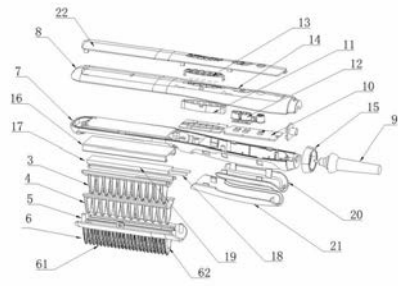
【0021】

|    |          |    |
|----|----------|----|
| 1  | ハンドグリップ  | 10 |
| 2  | アイロン機構   |    |
| 3  | 上櫛歯部     |    |
| 4  | 下櫛歯部     |    |
| 5  | 前カバー固定板  |    |
| 6  | 保護部      |    |
| 7  | 前カバー     |    |
| 8  | 後カバー     |    |
| 9  | 電気接続ケーブル |    |
| 10 | 電気回路基板   |    |
| 11 | 遮光板      | 20 |
| 12 | ボタン      |    |
| 13 | 導光板      |    |
| 14 | ボタン孔     |    |
| 15 | 締結リング    |    |
| 16 | 発熱シート固定板 |    |
| 17 | 発熱シート    |    |
| 18 | 電気コンタクト  |    |
| 19 | 発熱エリア    |    |
| 20 | ノンスリップゴム |    |
| 21 | 前装飾カバー   | 30 |
| 22 | 後装飾カバー   |    |
| 31 | 上固定板     |    |
| 32 | 上櫛歯      |    |
| 41 | 下固定板     |    |
| 42 | 下櫛歯      |    |
| 61 | 櫛歯キャップ   |    |
| 62 | ストッププレート |    |

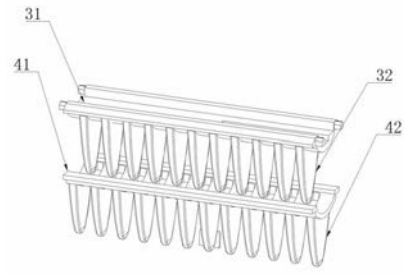
【 図 1 】



【 図 2 】



【 図 3 】



【 図 4 】

